

本校の沿革と先輩の活躍

明治12年 和歌山中学校開設

- 明治16年 植物学民俗学者 南方熊楠卒業
- 明治44年 ビタミンA抽出 理学博士 高橋克己卒業
- 大正4～昭和3年 全国中等学校野球大会 第1回大会から14回連続出場
- 大正10・11年 全国中等学校野球大会連続優勝
- 昭和2年 全国選抜中等学校野球大会優勝
オリンピック2回連続銀メダル獲得
西田修平卒業



南方 熊楠



高橋 克己



西田 修平



津本 健

努力!天は自ら助くる者を助く

- 昭和8年 元駐米大使 野村吉三郎蔵言碑建立
- 昭和20年 直木賞作家 津本 健卒業
(昭和21年 日本国憲法公布)

昭和23年学制改革 県立桐蔭高等学校となる

- 昭和24年 全国高等学校野球選手権大会準優勝
- 昭和36年 全国高等学校野球選手権大会準優勝
- 昭和46年 黒潮国体開催
- 昭和53年 和中桐蔭100周年記念事業
- 昭和55年 第一回桐蔭音楽祭

新たな飛躍をめざして

- 平成3年 数理科学科設置
- 平成4年 2学期制を実施
- 平成5年 65分授業開始
- 平成8年 「輝けハイスクール」支援事業の実施
- 平成11年 総合人文科設置
和中桐蔭120周年記念事業 モニュメント建立
- 平成12年 桐蔭総合大学の実施

大きくはばたこう21世紀

- 平成13年 入選「自校問題作成」制度導入
- 平成14年 長期休業日の短縮実施
- 平成15年 通学区域撤廃
「スーパーサイエンスハイスクール」に文部科学省から指定
- 平成16年 土曜講座図書館開放実施

平成19年 桐蔭中学校開校

- 平成22年 体育館改修
- 平成25年 文部科学省「研究開発学校」指定
- 平成30年 3学期制実施

140年目の「改革と伝統」

- 令和元年 50分授業開始
高校学科改編「新しい普通科」
和中・桐蔭創立140周年記念式典挙行



文武両道・改革と伝統

校歌

校歌について

歌詞は、生徒の保護者、教職員から広く募集した100点余りの中から選ばれたものです。
曲は、当時の桐蔭高校の音楽科担当教諭が作曲しました。

作詞 西川良三郎
作曲 竹中 重雄

1. 新たなる世紀に目覚めて
紀の国の雲に呼ぶよ光
見よさぐる真理のあかり
眉を照らす
ゆかし桐蔭かをる学園
若きわれらひたに学ぶ
2. 絶え間なく鼓みがけと
紀の川の水は語る朝夜
見よ開く平和の花を
胸に持てや
ゆかし桐蔭かをる学園
若きわれら道にこそる
3. 霧に映えて桐よ生ひたて
黒潮の風よ通へこの地
見よ強く伸びゆく力
明日を築く
ゆかし桐蔭かをる学園
若きわれらともにはげむ

と き 新たなる世紀に目覚めて

校名について

昭和23年5月10日の開校に際し、初代校長松野三郎氏によって名付けられました。「寸刻を惜しんで学べ」という意味の漢詩「少年易老学難成一寸光陰不可輕未覺池塘芳草夢階前梧葉敗秋声」の梧葉（アオギリ）に基づくものです。また、桐の生育にちなんで、生徒たちがすくすくと育つように、大木の葉が茂り蔭をなすことになぞらえて、学校がますます発展するようにとの願いが込められています。



校章について

「知」「徳」「体」を表す桐の葉を3枚配置し、その前に中学校の「中」、後ろに旧制和歌山中学校の校章の一部をデザインしたものです。
当時の桐蔭高校の美術科担当教諭が考案しました。